

〈資料紹介〉

アイヌ文献目録 2000～2009（その2）

〈雑誌・逐次刊行物 1〉

アイヌ文献目録編集会

- 目次 1 はしがき
 2 凡例
 3 謝辞
 4 文献目録

1 はしがき

この目録は、2000年1月から2009年12月までの10年間に日本国内で公刊された日本語文献（単行本、雑誌等）を対象として、当会が調査した範囲で確認できた、アイヌ民族に関連することがらを主題とするか、または内容において関連する記述・情報を含んでいる文献（単行本、論文、記事等）を一覧表形式にまとめたものである。直接には『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』11～15号に掲載してきた「アイヌ文献目録2003」～「同 2007」をもとに、補充調査を行ってまとめなおしたものである。対象とする期間を2000年以降としたのは、財団法人アイヌ無形文化伝承保存会による『アイヌ年誌』が1999年までをカバーしていることを踏まえ、そこに接続させることを意図したものである。

全体の分量が膨大であるため、昨年度、本研究紀要の第19号に「その1」として、単行本及び単行本中の論文、記事等を掲載した。今回は、「その2」として、雑誌及び年報・年鑑等の逐次刊行物（新聞を除く）⁴⁾のうち、誌名がローマ字表記のもの及び「あ」で始まるものに収録された論文、記事等を掲載する。今回掲載した論文・記事の件数は約600点である。なお、前回の「はしがき」に「データの収集・整理中の状態でまとめたため、遺漏が多いことは免れない〔中略〕次回に補遺を掲載し」…と記したが、今回、紙幅の制約もあり、何より本編の作業のみで“手一杯”だったので、これらを次回への宿題とすることでご寛恕いただきたい。

目録の編纂に当たっての編者らの意図、アイヌ文化研究に関する文献目録やインターネット上で

⁴⁾ 「逐次刊行物」とは、同一標題のもと逐次的に発行される刊行物であり、一般的には予め終期を定めず、或る期間ごとに発行される。雑誌、新聞、年鑑や施設の要覧などがこの例である。従って本来ならば雑誌も逐次刊行物に含めるべきではあるが、一般には「逐次刊行物」という名称に比べて「雑誌」のほうが広く知られていることから、本稿では、雑誌及びその他の逐次刊行物（新聞を除く）、との意でこのようなタイトルとした。

提供されている文献データベース類の現状と課題、本文献目録の当面の計画などについては、既に本目録「2003」～「2007」の「はしがき」で述べてきているので、それらを参照されたい。

今回の目録は、これまでと文献の掲載の仕方を大きく変えた。これまでは、全ての文献を発行年月日順に配列していたが、今回は雑誌等の逐次刊行物の表題を日本語五十音順に配列し、そのうえで、同一刊行物に掲載された文献を掲載年月順に配列するかたちとした。松下亘・君尹彦(編)『アイヌ文献目録 和文編』(みやま書房、1978年)の雑誌掲載文献の記載の方法に準じたものである。詳細については「凡例」を参照されたい。

掲載の仕方にはそれぞれに一長一短がある。今回は、これまでのように年月を追って全体的な動向を見ることは難しくなった。他方、同じ雑誌の連載などについては、まとまって確認しやすくなった。何より、雑誌等の場合、この形式のほうが、紙幅が節減できるので、今回敢えてこのように書式を改めてさせていただいた。もともっている電子データは引き続き同じ形式で蓄積するようにしているので、いずれデータベースとして利用に供せるようになれば、この種の問題も自ずと軽減できるものと思う。

上述のとおり、今回も種々の作業が遅滞したままである。その中でも引き続き、この目録の情報の大半は、当会の黒井茂が様々な図書館・資料館に幾度も足を運んで調査し実見したものであること、その作業の膨大さと労苦とは、今回も強調して然るべきと思う。今回もまた多くの遺漏や不十分さを抱えている(既に編集・校正の過程で、編者たち自身が痛いほどそれを自覚させられている)が、このような基礎的な作業を粘り強く、かつ意識して体系的に続けることなしには文献の目録はその体を為し得ない。

アイヌ文化の継承や復興、アイヌ民族の権利の回復、アイヌの歴史と文化に対する社会的な認識のあり方等々、アイヌ民族とその歴史・文化に関わる様々な議論が交わされ、施策や事業が試行され、イベントが開催され、またそれらに関する情報が飛び交うことが、近年、いっそう増えていることは間違いない。もとより、日本の社会での認知の度合いで見れば、依然として極めて低いことも否めない。それでも、こうして様々な情報が増えているからこそ、そして、そうした情報に自ら接近することができ、それらを主体的に取捨選択できることが重要だと思うからこそ、本目録のような基礎的作業の存在意義は大きくなっていると思う。しかしながら、これも前回記したとおり、近年、アイヌ文化に関する様々な学術事業が営まれている一方で、こうした継続的な基礎作業となりえるものは、依然としてあまり多くはない。

本目録が、こうした時代における学習・研究の基盤・足下を固めていくような作業の一面を占めていくことで、かかる現状の打開に繋がればと祈念している。

(小川正人)

2 凡 例

（収録の範囲）

- ・ 目録の本文には、2000年1月から2009年12月までの10年間に公刊された雑誌等の逐次刊行物に収録された論文・記事等であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。
- ・ なお今回は、主として紙幅の制約により、下記「配列」による掲載誌名の掲載順で「あ」で始まるものまでを収録している。
- ・ 日本語を主体とする単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがある。
- ・ 目録に掲載しておくことが文献検索上便宜的であると考えた場合は、アイヌを直接の主題とするものではない文献についても、やや広い範囲で収録している。埋蔵文化財の発掘調査関係、北海道・樺太等に関する文献目録・書誌の類などがその例である。逆に、本文中に登場する地名や単語若干についてアイヌ語訳などを示している、という程度の場合は、本目録への掲載を割愛したものが多い。

（配列）

- ・ 雑誌等の標題を、日本語五十音順に配列し、それぞれのタイトルの雑誌等に掲載された文献について、掲載された刊行物の発行順に配列した。
- ・ 雑誌等の標題の配列に当たっては、次のようにした。
 - ・ 原則として、誌名日本語読みの五十音順に配列した。
 - ・ 標題が数字・ローマ字等によるものについては、“その日本語読みに従って、日本語五十音のそれぞれのところに配列したもの”と、“数字・ローマ字による標題と考えたもの”とがある。両者を区分した基準は、一応、「日本語読みによるカタカナ書き等の標題が奥付その他に記されているもの」としたが、同じ雑誌でも巻号によって記載のされ方が異なるものもあり、この区分も必ずしも一貫したものとはなっていない。後者（数字・ローマ字による標題と判断したもの）は、日本語五十音の前に、数字－アルファベットの順に配列した。
 - ・ 自治体広報誌の標題冒頭に付いている「広報」、週刊誌・月刊誌にしばしば付いている「週刊」「月刊」等の、“これを標題に入れてしまうと、同じ語で始まるタイトルがたくさん並んでしまう”と考えたものについては、それらを省いたかたちを標題とみなして配列した。（例えば「広報びらとり」は「ひ」のところに配列している。）
 - ・ ただし、一部の、“そのタイトルが多く読者に馴染まれている”と考えたものについては、そのままのタイトルで配列している。
- ・ 発行年月は、奥付の記載に準拠している。奥付に日付の記載がないもの、日付を確認できなかったものは、年のみの記載にしている。

(記載事項と書式)

- ・雑誌等の標題部分には、誌名及び発行者名を記載した。編者名は、一部について記載したが、多くは割愛した。
- ・標題(誌名)の変遷については可能な限りあとづけたが、発行者名の変遷は一部に遺漏があるままになっている。本目録では、アイヌ関係文献を探すためのツールとなることを第一優先とし、個々の雑誌等の書誌については概略的な把握にとどめている、ということである。書誌等の情報については、別途他の公共図書館等の情報を参照されたい。なお、一部の発行者名には、()書きで発行地を付記した。
- ・掲載された論文・記事等については、最初にそれを掲載している雑誌等の巻・号数を、次に当該論文・記事等の編著者名と表題、掲載ページを記した。また、備考欄には、適宜補足的な情報を記載した。
- ・編著者名、表題などの記載は主として本文冒頭の記述に従った。ただし、副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。
- ・記事・論文等の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは[]で括弧して示した。
- ・〔 〕内は編者による注記・補足である。

3 謝 辞

本年度の目録の作成に当たって、下記の機関・個人から教示または協力を受け、あるいは多くの文献の閲覧をさせていただいた。参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、札幌市中央図書館、帯広市図書館、北広島市立図書館
公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、アイヌ文化交流センター、
北海道立アイヌ総合センター、一般財団法人アイヌ民族博物館、
北海道大学アイヌ先住民研究センター
帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター、北海道立北方民族博物館
北海道大学附属図書館、東京都立中央図書館、同日比谷図書館、人権ライブラリー、
明治大学博物館、宮城県図書館、部落解放・人権図書館、東京都人権プラザ
石原誠、高橋規、(故) 秋野茂樹

4 目 録

※データ別添のとおり。

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	
数字・アルファベット					88	ワッカ	
2005	4			6	片岡一史(文・写真)	秋辺得平 自然とともにあるために。	9～11
					BIRDER	文一総合出版	
2005	12		19	12	227 小野有五 この号の特集：森と川とシマフクロウ	シマフクロウとアイヌ民族	14～20
					国松俊英	シマフクロウはこう語られた	22～23
					FFIジャーナル〔食品・食品添加物研究誌〕	日本食品化学研究振興財団	
2005	2		210	2	佐藤知己	アイヌ民族の言語・文化と伝統料理	177～184
					FOR YOU 北国紀行人物伝	ホリ・プロダクツ〔北海道地区しんきん経営者協議会〕	
2000	5			23		[北の歴史 受けつがれる心]アイヌ民族と共に 湧別町の原野に生きる 上勇別町 徳広正輝	16～19
						[アイヌ民族の文化と歴史]上湧別町 獵区を めぐって十勝アイヌと抗争	20
2008	7			25		[アイヌモシリ文化探訪]アイヌ刺繍	6～7
2009	7			26		[アイヌモシリ文化探訪]アイヌ語地名	6～7
					photographer's gallery press	photographer's gallery	
2009	4			8		写真 田本研造	9～220
					大下智一	田本研造 その生涯と業績	221～233
					倉石信乃	「北海道写真」の前提	234～241
					大下智一(編)	田本研造年譜	396～400
					FRONT	リバーフロント整備センター	
2002	1		14	4	160 斎藤タ子・取材・文、首藤幹夫・写真	[びーぶる]112 秋辺得平さん アイヌ民族 に伝わる海洋カヌー「イタオマチブ」を復元	44～45
2004	11		16	2	182 斎藤タ子(取材・文)、大西成明(写真)	塘路湖の貴重な恵み・ヘカンベ	34
2005	11		18	2	206 児島恭子 この号の特集：アイヌが辿った水の道	アト・イさん アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」 ミュージック・デザイナー	38～39
						アイヌ民族の交易の歴史 北方交易の豊穡 交易品図録	4～7 8～9、13、 15
					相田潤(宮畑周平、田澤亮 補)	北大探検部の「勇払越え」追体験：アイヌ民族 の交易路を辿る	10～12
					入松田倫子	昆布ロード譚：北の海から琉球、そして清へ	14
					編集部(構成)	北の宝船 交易船のかたち	16～17
					アシリ・レラ	川と暮らす：アイヌ民族の祈り	18
					岡田政晴(文)、中野晴生(写真)	[水と人の交差点]② 瀬川拓郎さん 石狩川 のサケと丸木舟からアイヌ文化のルーツを探 る	46～47
					ICU比較文化	国際基督教大学比較文化研究会	
2007	3			39	森田みゆき	アイヌ民族の“展示”：20世紀初期における 博覧会と日本の植民地イメージの構築	119～149
					IMADR-JC通信	反差別国際運動日本委員会	
2000	3			105	IMADR-JC事務局(文責)	IMADA-JCレポート① マイノリティ女性に 対する複合被差別研究会	6
2001	1			110	前田朗	シンポジウム「わたしは人種差別をしたこと がない?」	2～5
					特集：人種差別撤廃条約シンポジウム報告 上村英明「先住民族・アイヌ民族および琉球／沖縄 の権利」報告		
2001	9			114	伊藤衆子	第10回ヒューマンライツセミナー 「国連から 見た日本の人種差別 ～人種差別撤廃委員 会勧告をどう活かすか」	14～15
					上村英明「沖縄・アイヌ民族の視点から」P.14～15		
2001	11			121	北海道ウタリ協会	国連とアイヌ民族の権利：スターベンハーゲ ン氏を迎えるにあたって	4～5
					特集：先住民族の権利を考える		
2003	5			124	島崎直美	IN札幌(3/21)	9
					IMADA/JC発マイノリティ女性に対する差別撤廃週間3/8～21)：初年度の取り組みから		

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	
数字・アルファベット							
					秋田春蔵	国連人権委員会先住民族特別報告者 ロドル フォ・スターベンハーゲンさんが国連人権委 員会にアイヌ民族に関する報告提出	10
2003	7			125	先住民族に関する特別報告書 多原良子	スターベンハーゲンの報告第一追加文書(抜粋)北海道ウタリ協会訳 マイノリティ問題を提起した経緯	5
2003	9			126	秋田春蔵	先住民族の権利とウタリ協会の取り組み 反差別国際運動日本委員会・第14回総会報告第2部アピール	9
2003	11			127	市川広朗	第12回ヒューマンライツ報告 女性の視点を政策に！社会に マイノリティ女性による実態調査を通してー	8~9
2004	1			128	市川広朗	2.マイノリティ女性の声 ー運動の現場から アイヌ民族女性の視点からー	多原良子さん P.9
2004	7			131	島崎直美 平良識子	アイヌ民族共有財産裁判への思い 国連・先住民族問題常設フォーラム報告：先 住民族女性の権利とアイヌ民族、琉球／沖縄 民族	4~5 6
2005	5			136	多原良子	特集：第2回アジア先住民族女性会議報告 アイヌ女性による実態調査という運動	6
2005	7			137	加藤忠	特集：実態調査を通じたマイノリティ女性による運動づくり 先住民族の権利と北海道ウタリ協会の取り組 み	13
2005	9			138	萱野茂	反差別国際運動日本委員会(IMADA-JC)第16回総会報告 第2部 会員団体からのアピール)	
2005	11			139		人権について 麻生太郎総務大臣(当時)の「一民族」発言の撤 回と謝罪を求めます。	6 15
2006	5			142	大河原康隆	『アイヌの女の会』『ヤイユカラの森』の公開講義・質問状を紹介 人種主義・人種差別・外国人嫌悪／排斥を克 服し多民族・多文化社会を実現しよう 院内 集会報告	4~5
2006	9			144	阿部ユボ	特集：人種主義・人種差別を克服し多文化共生社会を実現しよう ー国連特別報告者の日本公式 訪問報告書を受けてー 阿倍ユボ 報告要旨 P.4~5 [先住民族の権利に関する国際連合宣言：人 権のための闘いにおける重要な第一歩]	9~10
					加藤忠	特集：沖縄、日本、人種主義。阿部ユボ氏によるコメントの掲載あり。 先住民族の権利と北海道ウタリ協会の取り組 み	14
2007	1			146	多原良子	反差別国際運動日本委員会(IMADA-JC)第17回総会、会員団体からのアピール 2006マイノリティ女性のエンパワメント・ フォーラムを開催して	2~3
					島崎直美	アイヌ女性の実態調査を終えて	3~4
					徳田昭子	マイノリティ女性の会議を終えて	4
					川上裕子	アンケート調査にたずさわって	5~6
					山崎鈴子	自らが調査の主体へ：エンパワメントされた マイノリティ女性によるマイノリティ女性 のための実態調査	5~6
					梁愛舜	私たちのアイデンティティ	7
					梁優子	2006マイノリティ女性のエンパワメント・ フォーラムに参加して シスターフッドとマ イノリティ女性のエンパワメント	8
2007	9			150	編集部	特集：マイノリティ女性のエンパワメント 現代世界と日本における人種主義・人種差別 の撤廃にむけて ー人種差別撤廃NGOネッ トワーク立ち上げ記念集会でのスピーチ抜粋 マイノリティ当事者から 阿倍ユボさん P.10	9~11
2007	11			151	加藤忠	宣言に基づき、アイヌ民族に残された課題の 法的解決を [先住民族の権利に関する国際 連合宣言]採択についての談話	9
					原有利子	立ち上がりつながるマイノリティ女性：アイ ヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性によるア ンケート調査と提言	10~11
2008	1			152	IMADR-JC事務局	立ち上がりつながる女性たち：第1回マイノ リティ女性フォーラムin札幌	10~12

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	
数字・アルファベット							
2008	9			155	佐藤幸雄 上村英明 島崎直美 特集：先住民族アイヌの権利確立	「先住民族の権利に関する国際連合宣言」採択の意味と課題 アイヌ民族と先住民族の権利 一国会決議と国際人権基準 「先住民族サミット」アイヌモシリ2008から託されたもの	2～3 4～5 6～7
2009	5			158	阿部ユボ 荒井摂子(構成)	先住民族も温暖化に加担している 「気候変動に関する先住民族世界サミット」参加コメント	17
2009	8			159	島崎直美 特集：女性差別撤廃委員会第6回日本報告書審査とマイノリティ女性	実感した当事者参加の意義：アイヌ民族女性の状況を訴える 反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC)第20回総会報告	6 16～17
2009	11			160	IMADR-JC事務局(まとめ)	第2部 各団体からのアピール アイヌ民族の先住民族としての権利確立にむけて P.17 先住民族アイヌの権利確立に向けて：第18回ヒューマンライツセミナー報告	阿倍ユボ 16～17
					NETT 北海道東北地域経済総合研究所		
2008	1			60	工藤雅樹	北海道 その原風景とアイヌ文化への道	34～37
2009	4			65	工藤雅樹 発行月日記載なし。「Spring」とあり。	本州の「アイヌ語地名」	38～41
					UP 東京大学出版会		
2008	7		37 7	429	五味文彦	史料を読み、歩く 7 北の国をめざした和人とアイヌとの交流	1～5
					WB Waseda Bungaku Free Paper 早稲田文学会/早稲田文学編集室		
2006	5			4	向井豊昭	〔創作〕劇団桜天幕 「北蝦夷地惣乙名キムラカアエノ」に関わる内容あり	1～3

雑誌等の誌名			発行者				
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
					文献の目次・備考		
あ							
Arctic Circle(アークティック・サークル)			北方文化振興協会				
2000	3		34		相沢詔男	美術学生とアイヌの造形	4~7
2000	7		35		梶淳	学校教育と民族文化⑧ 高等学校「日本史」での北方史の扱い -北海道外での実践-	8~9
2000	10		36		松村博文 村崎恭子 (I)	古人骨からみた日本人の成り立ち 樺太アイヌ語の行方 [Arctic Square Books]『特集・北方諸民族文化のなかのアイヌ文化 生業をめぐる(アジア遊学17)』	4~7 15~17 18
2001	1		37		平野正美	学校教育と民族文化⑩ アイヌ文化の学習の広がりと深まりに期待して -東京・和光小学校からの報告-	8~9
2001	3		38		大島直行	特集・日本列島の人類史④ 北の縄文人は交流に何を求めたのか	4~7
2001	7		39		本間愛之 (角)	学校教育と民族文化⑬ いま、三十五年のアイヌ文化を継ぐ 実践の試み-旭川竜谷高等学校郷土部の活動から-	8~9
2001	10		40		(T)	[Arctic Square Books]『北から見直す日本史 -上之国勝山館跡と夷王山墳墓群からみえるもの』網野義彦・石井進稿	19 4~7
2002	3		42		小口雅史 勝山明彦 (Y)	北の防御性集落の時代: エミシからエゾへ 学校教育と民族文化⑯ アイヌ文様を彫る	4~7 8~9
2002	7		43		伊藤健次 白鳥誠一郎	[アングル 北方発]音楽が伝わる時・トンコリとオキ コレクションの系譜① 芹沢銈介の蒐集とアイヌ関連資料 静岡市立芹沢銈介美術館	10~11 16~17
2002	10		44		伊藤健次 中谷哲二	[アングル 北方発]海をゆく旅・トライバルジャーニー コレクションの系譜② 世界の生活文化と考古美術の博物館 天理大学附属天理参考館のアイヌ民族文化資料	10~11 12~13
2002	12		45		出利葉浩司 伊藤健次 三上洋子	アイヌの狩猟文化研究における視点 [アングル 北方発]キムンカムイ コレクションの系譜③ 過去と現在の邂逅の場「稲古館」青森市歴史民俗展示館「稲古館」収蔵アイヌ民族資料	4~9 10~11 12~13
2003	3		46		伊藤健次 姉崎等を紹介。 小井川和夫	[アングル 北方発]マタギの言葉 コレクションの系譜④ 東北歴史博物館 杉山寿栄男旧蔵のアイヌ関係資料	10~11 12~13
2003	7		47		亀井哲也	コレクションの系譜⑤ 楽しみながら学ぶ“体感”博物館 野外民族博物館リトルワールドのグリーンランド、アラスカ民族資料	12~13
2003	10		48		中條英樹 R	コレクションの系譜⑥ 土佐林コレクションについて 早稲田大学會津八一記念博物館所蔵のアイヌ資料 [北図鑑]ヒシ	12~13 19
2003	12		49		山本命 R	コレクションの系譜⑦ 松浦武四郎とアイヌ民族 松浦武四郎記念館のアイヌ民族資料 [北図鑑]イラクサ	12~13 19
2004	3		50		田島佳也 岡本敏行	近世期における蝦夷地の漁業 コレクションの系譜⑧ 清野謙次コレクションについて: 大阪府立近つ飛鳥博物館所蔵の北方民族資料	4~9 12~13
2004	7		51		(I) (R)	[Arctic Square Books]『アイヌ絵巻の研究』佐々木利和著/『アイヌ絵巻探訪 歴史ドラマの謎を解く』五十嵐聡美著 [北図鑑]オオウバユリ	18 19
2004	10		52		杉山享司	コレクションの系譜⑩ 日本民芸館とアイヌ工芸	12~13

		雑誌等の誌名			発行者		
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	掲載ページ
あ							
2004	12				(R) 若林邦彦	[北図鑑]ガマ コレクションの系譜⑪ 関西でふれられる擦文・アイヌ文化資料：同志社大学歴史資料館所蔵の北海道関連の歴史・民族資料	19 12～13
2005	3				54 小西雅徳	コレクションの系譜⑫ 板橋区郷土資料館と石田収蔵資料	12～13
2005	6				R 55 坂詰秀一	[北図鑑]ヤブマメ コレクションの系譜⑬ 立正大学博物館と久保樺太資料	19 12～13
2005	9				56 齋藤玲子	揺籃から墓場までの植物利用：アイヌの事例を中心に	4～9
					特集：多様な植物との関係2 西田素康	コレクションの系譜⑭ 鳥居記念博物館と北方民族資料	12～13
					R	[Arctic Square Books]『街道の日本史 アイヌの道』佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編	18
					R 中田	[北図鑑]キハダ [編集後記]	19 19
2005	12				57 星雅俊	コレクションの系譜⑮ 毛利総七郎とコレクション	12～13
2006	6				R 59 T	[北図鑑]テンキグサ(ハマニンニク) [BOOKS]『アイヌ・エコシステムの考古学 異文化交流と自然利用からみたアイヌ社会成立史』瀬川拓郎著	19 18
2006	9				60 R	[北図鑑]エゾノウワミズザクラ	20
2006	12				61 R	[北図鑑]ナナカマド	20
2007	3				62 隅田登紀子	コレクションの系譜⑯ 杉野学園衣裳博物館と杉野芳子のまなざし	12～13
					「アイヌ衣装との出会い」あり。		
					R	[北図鑑]フキ	20
2007	6				63 谷本一之 西村直城	北風の歌の旅 熊送り解禁 コレクションの系譜⑰ 黄檗太陽文庫のアイヌ工芸品	3 12～13
2007	9				R 64 文公輝	[北図鑑]ハマナス コレクションの系譜⑱ チセが包みこむ作品群：大阪人権博物館	20 12～13
					高清水康博	地層学とアイヌ口碑伝説から過去の大津波を探る	14～17
					T	[BOOKS]『アイヌのクマ送りの世界』木村英明・本田優子編	18
					R	[北図鑑]トリカブト属	20
2007	12				65 A	[BOOKS]『アイヌ文化への招待 女性と口承文芸』萩中美枝著	18
2008	3				R 66 (Y)	[北図鑑]ツルウメモドキ [Arctic Square Books]『蒼いお尻のぼくとときみ。カナダ極北のイヌイット 内なる心の旅』磯貝日月著 『首都圏に生きるアイヌ民族 対話』の地平から』関口由彦著	20 18
2008	6				(R) 67 梅林智美	[北の図鑑]カタクリ コレクションの系譜⑳ 米子市立山陰歴史館－足立正コレクション	18 12～13
					(R)	[Arctic Square Books]『東アジア内海世界の交流史－周縁地域における社会制度の形成－』加藤雄三・大西秀之・佐々木史郎	18
2008	9				(R) 68 谷本一之 井筒勝信	[北の図鑑]ハナウド属 北の図像学 「アイヌ語旭川方言研究」というフィールドワーク	20 3 14～17
2008	12				(R) 69 (R)	[北図鑑]マムシグサ [北図鑑]ハンノキ属	20 20
2009	3				70 佐々木長生	コレクションの系譜㉑ 福島県立博物館のアイヌ関係寄託収蔵品	12～13

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名		発行者		
					文献の編著者名	文献の目次・備考	文献タイトル	掲載ページ	
あ									
2009	6			71	(R) 阿子島香	[北の図鑑]エゾエンゴグサ コレクションの系譜⑳ 東北大学の伊東信雄 サハリン関係資料 ー東北大学院文学研究科 考古学陳列館ー		20	12~13
2009	9			72	R 尾高暎子	[北の図鑑]ヤナギラン コレクションの系譜㉑ 東京芸術大学音楽学 部小泉文雄記念資料室所蔵の北方民族関係コ レクション		20	12~13
2009	12			73	(R) 猪熊樹人	[北の図鑑]ナギナタコウジュ 根室市の遺跡について		20	
					あいだ		『あいだ』の会		
2003	10			94	犬塚康博	[フォーラム]を睥睨する[神殿]:「アイヌか らのメッセージ」展の吉田憲司フォーラム論 批判			2~15
2004	1			97	吉田憲司	[フォーラム]を睥睨するのは誰か:犬塚康博 氏による[[「アイヌからのメッセージ」展の吉 田憲司フォーラム論批判]をただす			2~19
					愛知学院大学文学部紀要		愛知学院大学文学会		
2001	3			30	鏡味明克	アイヌ語地名の日本語化の型			129~137
2009	3			38	鏡味明克	国際名称科学会議の先住民族部会とアイヌ語 地名の痕跡研究			27~35

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	

あ (あいぬ)

					アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告	アイヌ文化振興・研究推進機構		
2002	2			1	北原次郎太 2001年3月に発行した報告書を取録したもの。 十勝開拓とアイヌの歴史研究会 計良光範 2001年2月に発行した報告書を取録したもの。 貝澤守 アイヌの女の会 上武和臣 2001年2月に発行した報告書を取録したもの。 貝澤文俊 知里眞希	樺太アイヌ文化調査報告書2 十勝開拓とアイヌ歴史の検証 外来宗教とアイヌ社会稿1 貝澤はぎのユカラと伝承 アイヌのフチから学ぶ 室蘭のアイヌの生活 (鍋沢ノート)大正のクツネシリカ テンキ草で作る アイヌブリ・バスケット	1～82 83～137 139～201 203～224 225～276 277～299 301～340 341～378	
2003	2			2	アイヌ文化研究会 2002年3月に発行した報告書を取録したもの。 計良光範 2002年2月に発行した報告書を取録したもの。 十勝開拓とアイヌ歴史研究会 貝澤文俊 アイヌ文化環境デザイン研究会 石狩川中流域文化研究会 2002年2月に発行した報告書を取録したもの。 知里眞希 2002年2月に発行した報告書を取録したもの。 知里眞希	民族政策の先進地事例からアイヌ文化の総合的振興のあり方の調査研究 外来宗教とアイヌ社会稿2 十勝開拓とアイヌ歴史検証報告書 (鍋沢ノート)大正のクツネシリカ アイヌ伝統文化再生のための環境デザインに関する調査研究：日高・二風谷コタンをフィールドとして ソラチウンクルの生活文化誌 イラクサと木の皮 採取から糸作りまで アイヌブリ・バスケット	1～50 51～106 107～199 201～332 333～418 419～484 485～502 503～529	
2004	2			3	計良光範 十勝開拓とアイヌ歴史研究会 津田命子 アイヌ文化を学び継承する助成の会 貝澤文俊 「北海学園大学藤村久和教授による「鍋沢ノート」監修・解説文」を付す。	外来宗教とアイヌ社会稿3 十勝地方の食文化研究 アイヌの組紐：アイヌの民具に見られる組紐の組成と種類について アイヌの衣服文化を探る：オモンベとその縫製技術の研究 (鍋沢ノート)大正のクツネシリカ 翻訳&研究報告書	1～74 75～126 127～160 161～183 185～553	
2005	2			4	平石清隆 たきかわ歴史地図研究会 2004年2月に発行した報告書を取録したもの。 瀬川拓郎 太田忠雄 白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室(編)、蓮池悦子(監修) アイヌ文化研究会 2004年2月に発行した報告書を取録したもの。 Ch.M.タクサミ 広野洋 社団法人北海道ウタリ協会 竹内渉 2004年2月に発行した報告書を取録したもの。 高野啓子	沙流地方のウウエケレ：上田としの伝承 歴史地図に見る 石狩川筋のアイヌ語地名 アイヌのサケ加工と製品の移出に関する基礎的研究 上川地方における衣服文様について 金成マツ筆録ノート文字解読字典 アイヌ文化の総合的振興の調査研究Ⅲ サハリンとアムール下流域のアイヌ民族の標本資料に関する調査と研究 山本多助が伝承したアイヌ文化を中心とした北海道東部のアイヌ文化研究 アイヌの先住に関する主要史・資料の調査研究報告 野村義一研究報告書 エムシアットの文様の調査 アイヌ女性の手仕事1	555～742 3～57 59～95 97～120 121～141 143～288 289～353 355～407 409～542 543～704 705～738	
2006	1			5	中村和之(研究代表者) 2005年2月に発行した報告書を取録したもの。	蝦夷錦・青玉の化学分析	3～17	

雑誌等の誌名			発行者				
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
						文献の目次・備考	
あ (あいぬ)							
					佐藤孝雄	恵庭山中におけるシラッチセの民俗考古学的調査(概報)	19~43
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		白老	楽しく・やさしいアイヌ語教室(編)、蓮池悦子(監修)		金成マツ筆録ユーカラ既刊20編の研究と分析(1)		45~161
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		たきかわ歴史地図研究会			古地図にみる西蝦夷地のアイヌ語地名		163~255
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		北海道ウタリ協会			アイヌ民族の「先住民族」認知への小論：主要史・資料収集に基づいて		257~295
		旭川アイヌ語教室			旭川アイヌ語辞書(基礎データ)		297~469
		貝澤美和子			イテセ(ゴザ編み)：シキナ活用の調査研究		471~504
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所			前近代アイヌ民族における交通路の研究(胆振・日高 I)		505~605
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		アイヌ無形文化伝承保存会			トウイタク(散文説話)の翻訳と類話及び語り手に関する調査研究報告書(その1)		607~680
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		結城庄司研究会			結城庄太郎研究報告書		681~743
					2005年2月に発行した報告書を取録したもの。		
2007	1	6	知里真志保を語る会(編)		室蘭沿岸の地名研究[室蘭・登別のアイヌ語地名研究 インカラアンロ 眺めましょう]		3~67
					2006年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		関口良彦			首都圏におけるアイヌ民族の文化・社会運動：日常性の観点から		69~230
					2006年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		アスキュー・デイヴィッド			法・帝国主義・先住民族：「旧土人保護法」と皇民化運動		237~291
		アイヌ民族博物館(編)			トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究報告書		293~388
					2006年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		竹内渉(結城庄司研究会)(編)			北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究I 報告書		389~504
					2006年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		白老	楽しく・やさしいアイヌ語教室		金成マツ筆録ユーカラ 既刊20編の研究と分析(2)		505~559
					2006年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		アイヌ無形文化伝承保存会(編)			トウイタク(散文説話)の翻訳と類話及び語り手に関する調査研究報告書(その2)		561~621
		千葉伸彦			アイヌ民族芸能の研究：特にトンコリと歌舞について		623~729
					(1)西平ウメのトンコリの採譜資料(1967年小泉文夫録音資料から)/(2)資料及び歌舞の現状についての調査		
2008	1	7	千葉伸彦(編著)		小泉文夫録音 西平ウメ演奏・解説によるトンコリ演奏法		1~184
					2007年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		中野栄夫(編)			浦河地方のアイヌ文化とその継承：遠山サキさんの歩んだ道		185~218
					2007年2月に発行した報告書(東京アイヌ協会発行、日本異文化研究会協力)を取録したもの。		
		貝澤美和子			平取町内に伝わる薬用植物		219~252
					2007年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		山口裕文(研究代表者)			アイヌのひえ酒に関する考古民族植物学研究		253~302
					2007年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		林家文書解読ボランティアの会(会長 駒木根恵三)			余市アイヌの歴史的研究：林家文書及び考古資料の分析を中心にして		303~338
					2007年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		結城庄司研究会(編)			北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究2 ノート		339~454
2009	3	8 上巻 研究篇	伊藤勝久		北海道の義務教育初等教育学校におけるアイヌ民族伝統文化理解教育の現状		1~103
					2008年2月に発行した報告書を取録したもの。		
		佐伯智弘			アイヌ語講師の経験から、アイヌ文化・言語・アイデンティティの本来の価値を問う		105~141
		清水香			アイヌ文化の献酒用具について：捧酒箸を中心に		143~168

				雑誌等の誌名	発行者		
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
					文献の目次・備考		
あ (あいぬ)							
					千葉伸彦	1. 白老と阿寒における現代の歌唱についての調査報告 2. 木村チカマハのトンコリ演奏法	169～437
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。		
					布施和洋	アイヌ・エコツーリズムによる考古学情報の公開と普及	439～513
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。		
2009	3		8	下巻 資料篇	ジェフ・ゲーマン	アイヌ文化指導者・教育者養成に関する研究：フチ・エカシからの次世代へのメッセージ	1～65
					東京アイヌ協会	七十年の時を超えて：戦時下を生きるアイヌたち	67～217
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。		
					小川早苗	アイヌ民族紋様の基本刺繍の研究：アイヌメノコが伝承するイカラカラ	219～271
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。		
					アイヌ文化研究会(代表 笹村一郎)	「東北道アイヌ古語録音テープ」の内容調査研究	273～377
					「例言・凡例」に「本報告は齊藤米太郎氏と齊藤明氏が調査の際に録音した音声資料テープについて、その内容を確認し、編集したもの」と記す。		
					知里真志保を語る会	樺太庁豊原高等学校での知里真志保	379～447
					2008年2月に発行した報告書(小坂博宣編、知里真志保を語る会発行)を収録したもの。		
					白老 楽しく・やさしいアイヌ語教	金成マツ筆録ユーカラ既刊20編の研究と分析(3)	449～549
					室(代表 大須賀るえ子)		
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。「はじめに」に、「今年度は続編として、既刊20編のうちの数編の物語の中身についてその特徴、登場人物の系譜、などについて勉強しました」と記す。		
					竹内渉	森久吉研究報告書 「森久吉研究ノート」	551～629
					2008年2月に発行した報告書を収録したもの。		
					アイヌ語地名研究	アイヌ語地名研究会(発行)、北海道出版企画センター(発売)	
2000	12			3	池田実	地名になった犬の墓・セタノカ	1～2
					秋山秀俊	戦いの地名トミタヒラ	3～4
					榊原正文	アイヌ語地名3題	5～10
					伊藤せいち	雄武町内幌内川のアイヌ語地名	11～28
					榊原正文	静内町のアイヌ語地名1：海岸線 布辻川～真沼津川	29～54
					平隆一	浦臼町のアイヌ語地名：新十津川の待根山とピンネシリ	55～74
					清水清次郎	試論・アイヌ語の祖語は東日本縄文語である(共通的縄文語は磨消縄文土器文化期に成立か)	75～93
					高木崇世芝	享保3年の国絵図系蝦夷図に見る地名	94～104
					切替英雄	頻出アイヌ語地名の形態論的構造	105～142
2001	12			4	扇谷昌康	アイヌ語地名マカウシ覚書	1～7
					高橋基	「旭川」の地名起源考：(その1)	8～50
					伊藤せいち	紋別市内藻別川のアイヌ語地名	51～69
					池田実	陸地にある群衆場・ヘロキカチウシ	70～71
					地蔵慶護	認知されたユウフのソウ	72～73
					清水清次郎	アイヌ語「湾、入江」の意の「ウシ、モイ」が語源と考えられる本州方面の地名研究	74～97
					渡辺隆	消えてしまったアイヌ語の山名	98～118
					高木崇世芝	幕府調査隊作製の蝦夷図に見える地名	119～126
2002	12			5	平隆一	数値地図を使用しての無意根山形態検討	1～3
					平隆一	新十津川町における樺戸川の検討	4
					扇谷昌康	北海道におけるニナラ(ninar)地名：特に沙流地方を中心とした	5～28
					池田実	マクンベツとマコマナイを歩く	29～42
					伊藤せいち	湧別町内のアイヌ語地名	43～53
					地蔵慶護	恵庭市ラルマナイ川の滝群	54～58
					渡辺隆	明治の地図に記された北海道の山名	59～78

				雑誌等の誌名	発行者		
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
					文献の目次・備考		
あ (あいぬ)							
					清水清次郎	地名から判断されるアイヌ語シト起源地名の分布	79~112
					真尾秀幸	写真と地図で見る東北のモヤ山	113~123
					鳴海日出志	アイヌ語とインドヨーロッパ祖語：地名語を中心として	124~131
					高木崇世芝	享保12年「松前西東在郷并蝦夷地所附」に見える地名	132~142
					高橋基	「旭川」の地名起源考：(その2)	143~169
					中川裕	言語学がアイヌ語地名研究に寄与できること	170~173
					須藤隆仙	函館のアイヌ語地名に関する疑問	174~178
2003	12			6	秋葉實	北大北方資料室蔵の仮題北海道河川図：文化14年間宮林蔵図と判断	1~6
					平隆一	松浦武四郎描画記録における空知のアイヌ語山名	7~24
					池田実	漁労と地名：「胆振の山立て」から	25~44
					井口利夫	厚岸の「モイワ」について	45~60
					清水清次郎	地形から判断されるアイヌ語起源の地名考	61~76
					伊藤せいち	興部町のアイヌ語地名	77~100
					高木崇世芝	寛政3年「絵図面方角道規地名控」に見える地名	101~108
					渡辺隆	蝦夷地名解のルーツを辿る その1	109~144
					高橋基	「旭川」の地名起源考：その(3)	145~190
2005	1			7	扇谷昌康	豊頃町の旅来と遠別町の歌越の語源：北海道のタブコブ地名を追って	1~24
					井口利夫	山田秀三からの宿題：室蘭のアイヌ語地名3題	25~48
					池田実	有珠沿岸の地名	49~72
					平隆一	空知におけるuray地名	73~90
					三好勲	樹木名の付くアイヌ語地名「キキン」：木禽原野、津別町恩根・本岐	91~114
					伊藤せいち	利尻町のアイヌ語地名	115~134
					清水清次郎	本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プト：関東地方の舞台地名とその立体地形	135~158
					高木崇世芝	「蝦夷巡覧筆記」に見える地名	159~170
					渡辺隆	蝦夷地名解のルーツを辿る その2	171~194
					伊藤せいち	「談話室」実在形と推定形	199
2005	12			8	尾崎功	知床半島のアイヌ語地名：知床・世界自然遺産登録記念	1~20
					戸辺千春	十勝湖沼群海岸夏、松浦武四郎に習い歩む	21~34
					井口利夫	試論・「モイワ」考：全道の地形図に「モイワ」を採す	35~54
					平隆一	空知におけるtapkop地名	55~74
					末尾に「参考A 栗山町イタイベツ川の「シユマアンチ」」「参考B 美唄の地名「我路」がアイヌ語「カル(凹凸ある)」由来説の検討」あり。		
					榊原正文	アイヌ語地名三題	75~82
					池田実	胆振の旧道を訪ねる 1	83~104
					伊藤せいち	貫気別川筋のアイヌ語地名	105~117
					横平弘	難読アイヌ語地名を考える：「弟子屈」と「手師学」を事例として	119~121
					清水清次郎	本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プトか(その2)：中部地方の舞台地名とその立体地形	123~142
					高木崇世芝	「東蝦夷地屏風」と「東蝦夷地名考」	143~152
					佐藤知己	アイヌ語地名研究と言語学	153~180
					第9回アイヌ語地名研究会(2005年6月9日)における講演に基づくもの。		
					鳴海日出志	「談話室」言語漫談	181~182
2006	12			9	平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」：第1報 石狩川右岸 前編	1~20
					榊原正文	胆振管内海岸域のアイヌ語地名について	21~44
					戸部千春	松浦武四郎弘化二年初航の十勝海岸を歩む	45~58

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	
あ (あいぬ)							
					池田実	胆振の旧道を訪ねる 2	59～80
					清水清次郎	本州のアイヌ語(起源の)地名研究: コッ・オウコッ・オコッペ・地名	81～100
					地蔵慶護	本州のアイヌ語地名	101～111
					宮崎耕太	樺太・能登呂村のアイヌ語地名	113～125
					三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(その1): 海岸・山・川・湿地のアイヌ語地名	127～152
					井口利夫	19世紀の室蘭園に見るアイヌ語地名	153～174
					村崎恭子	日本の中のアイヌ語地名: 北海道をモデルに本州以西を探る	175～193
					2006年6月11日旭川での地名研究大会における講演記録。		
					鳴海日出志	[談話室] 言語漫談: 「父」の比較言語	195～196
2007	12			10	井口利夫	伊能間宮蝦夷図の石狩-勇払横断線の地名(1)	1～20
					秋山秀敏	十勝のアイヌ語地名 1 帯広市	21～33
					宮崎耕太	稚内半島のアイヌ語地名	35～46
					榊原正文	洞爺湖周辺のアイヌ語地名	47～66
					平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(2)	67～86
					横平弘	難読地名「生田原」と「砂原」	87～90
					三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(その2): 交通・地形形状・形容語のアイヌ語地名	91～105
					清水清次郎	和歌山県・高知県のアイヌ語系地名: クシ・クシル・ルクシ(ルークシー)	107～124
					本田克代、吉田千萬	クナシリ島の地名: 安政四年佐倉藩士による記録	125～138
					高木崇世芝	『西蝦夷地行程』に見える地名	139～144
					渡辺隆	北海道山川番付	145～148
					伊藤せいち	北海道における日本語地名事例	149～162
					鳴海日出志	アイヌ語と日本語の起源: 若干の地名語から	163～166
2008	12			11	小野有五	アイヌ語地名の平等な併記に向けて: アイヌ語地名研究の目的と意義	1～10
					榊原正文	白老川本流域のアイヌ語地名	11～30
					宮崎耕太	稚内 声間(幕別)川流域のアイヌ語地名	31～42
					井口利夫	伊能間宮蝦夷図の石狩勇払横断ルートの地名(2)	43～64
					吉田千萬、本田克代	続クナシリ島の地名	65～84
					平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(3)	85～104
					渡辺隆	松浦武四郎文献の特色と山の呼称	105～116
					伊藤せいち	南サハリンにおけるsian(本流)とmoan(支流)	117～124
					三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(3): 動物・鳥・草・樹木の名をついたアイヌ語地名	125～136
					清水清次郎	熊本県のアイヌ語系地名「田子山」について	137～158
					横平弘	難読現有地名「梅花都」と旧地名「潮路」「咄別」	159～164
					鳴海日出志	アイヌ語と日本語の起源……一つの試み	165～173
					伊藤せいち	[談話室] 山の名 ヌブリとシリ	175
2009	12			12	高木崇世芝	天保国絵図「松前嶋図」に見える地名	1～10
					井口利夫	伊能間宮蝦夷図の石狩勇払横断ルートの地名(3)	11～36
					平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(4)	37～56
					榊原正文	小樽内、銭函、樽前: タオロの概念について	57～76
					宮崎耕太	稚内 増幌川流域のアイヌ語地名	77～82
					横平弘	現有地名「留寿都」と難読旧地名「御卒別」	83～88
					高橋慎	チライのつく地名	89～98
					伊藤せいち	色丹島のアイヌ語地名	99～112

年 月 雑誌等の編者名 巻 号 通巻			雑誌等の誌名 文献の編著者名	発行者 文献タイトル 文献の目次・備考	掲載ページ
あ (あいぬ)					
			渡辺隆	幕末・明治の山名探案 資料編(国後・択捉・北海道)	113~130
			清水清次郎	南九州の古代[隼人(ハヤト)語]の必志(ピシ)の語源は和語か、それともアイヌ語系の言葉か?	131~150
			高橋基	旭川の「神楽岡」のアイヌ語地名について(上)	151~172
			伊藤せいち	[談話室] 魚無し川で魚を釣り	173
			高木崇世芝	[談話室] 古地図雑感	174~175
			渡辺隆	[談話室] ソーランはアイヌ語??	175~176
			アイヌ文化	アイヌ無形文化伝承保存会	
2000	3	24	沖野慎二	アイヌ民族の楽器 レラスイェブ・バラライキを中心に (講義録)	3~28
				アイヌ民俗文化財専門職員等研修会実施内容一覧	24~34
			中村和之	山本多助「トバットミ」について	35~46
2001	3	25	高橋規	『アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ民俗調査)』全18冊の内容別・伝承者別リストについて	3~46
2002	1	26	若林和夫	アイヌ文化におけるオオウバユリ処理について: オオウバユリの処理過程における澱粉とオントウレップアカムの関係	3~16
			浪川健治	東北のアイヌ: 近世の北奥社会の様子(講演録)	17~46
2003	1	27	鹿戸ヨシ(語り)、高橋規(訳注)	新冠の川を遡上しなくなったサケの話	3~18
			この号の特集: アイヌ民族の食料にまつわる口承文芸		
			淵瀬あきの(語り)、高橋規(訳注)	穂が小さいアワを大切にした夫婦の話	19~36
			澤井トメノ(語り)、高橋規(訳注)	神の御告げで飢饉から逃れた集落の話	37~47
2004	1	28	川上淳	根室地方を中心とするアイヌ民族史資料とその活用	3~28
			高橋規	チセヤイエアシリカラ(家の建て替え)と、それに伴うカムイノミ(神への祈りの儀式)について	29~46
2005	1	29	藤村久和	葛野辰次郎翁「神々への祈り」(第一~六回)の復刻にあたって	3~4
			葛野辰次郎(伝承者)、藤村久和(解題・訳注)	「神々への祈り」(第一~六回)	5~69
			『アイヌ文化』第7、9、11、12、13、14号掲載。		
2006	1	30	藤村久和	アイヌ民俗文化財調査の方向性	3~23
			藤村久和	民俗技術について	24~50
2007	3	31	秋野茂樹	アイヌの送り儀礼に関する文献資料2(補遺)	3~21
			『アイヌ民族博物館研究報告』第6号(1998年)に掲載した論文の補遺。		
			若林和夫	「アイヌ文化のオオウバユリ処理について」再考	23~44
			『アイヌ文化』第26号掲載論文に続くもの。		
			追悼 萱野茂理事	45~54	
			萱野茂の「北海道功労賞」受賞祝賀会における野村義一会長による挨拶などを掲載。		
2008	3	32		『アイヌ民俗文化財専門職員等研修会講義資料』(平成5~19年度)総目録	3~17
				『アイヌ文化』(創刊~31号)総目次	18~31
				『アイヌ文化』(創刊~31号)著者別索引	32~33
			アイヌ民族博物館研究報告	アイヌ民族博物館	
2001	6	7	姉帯正樹、村木美幸、安田千夏、南取	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第6報) 白老ウバウ考	1~82
			本田優子	川上まつ子アイヌ語文集	9~76
			安田千夏	児玉コレクション「キケウシバスイ」について	77~102
2004	3	8	姉帯正樹	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第7報) 白老の食用野性植物考 2	1~22
			姉帯正樹、村木美幸、本田優子、安田千夏	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第8報) ウバウおよびイフニンジン	23~33
			姉帯正樹、本田優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第9報) キナライタの“白いいも”	35~41

				雑誌等の誌名	発行者		
年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
							文献の目次・備考
あ (あいぬ)							
					姉帯正樹、菱川敦之、細川敬三、本 田優子、村木美幸、小川広	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第10報) ブイの食材としての可能性につ いて	43～47
					姉帯正樹、本田優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第11報) トゥレブからのデンブン採取と加 工処理	49～55
					姉帯正樹、高谷芳明、安田成衣子、 土居雅津代、村木美幸、本田優子	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第12報) シケレベキナの形態学的、化学的 および薬理学的研究	57～66
					姉帯正樹、南収、本田優子、村木美 幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第13報) ツルニンジンおよびバアソブの試 作栽培と栄養成分分析	67～73
					小川正人	『室蘭毎日新聞』掲載アイヌ関係記事：目録と 紹介(1)	75～120
2006	3		9		姉帯正樹、山口敦子、山本愛子	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第14報) ツルニンジンおよびバアソブ塊根 の調理法の差異と食味・栄養成分について	1～6
					姉帯正樹、南収	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究 (第15報) イケマの試作栽培および若芽の栄 養成分分析	7～12
					小川正人	『室蘭毎日新聞』掲載アイヌ関係記事：目録と 紹介(1)	13～55
					アイヌ民族博物館だより	アイヌ民族博物館	
2000	3			44	浅野みどり 表紙「ルウンベ(木綿衣)もこの記事に関連するもの。 村木美幸 安田益穂	衣服の複製について 新収蔵資料紹介 屋根に立てる「何か」について 博物館短信	3～4 5 6 7～8
2000	7			45	秋野茂樹 村木美幸 「ヤブマメ」を取り上げる。 野本正博	特別展「スコルト・サーミの世界」を開催し て：サーミに関するメモとともに [アイヌ有用植物コーナー]リポート4 特別展「馬場・児玉コレクションにみる 北 の民・アイヌの世界」より チセの展示製作	2～3 4～5 6～7
2000	11			46	安田益穂 秋野茂樹	平成12年度第3回アイヌ文化教室 黒川セツ さんのアオバトの神誕 台湾原住民パイワン族との交流 博物館短信	2～4 5～6 7～8
2001	9			47・48	野本正博	平成13年夏休み企画 復活したサケ儀礼 学芸員実習の受入について 博物館短信	1 2～5 6～8 9～12
2002	9			49・50	中村齊 安田益穂 安田益穂 野本正博	館長就任にあたって 葛野辰次郎エカシを悼む コタンノミ(春秋の村祭り)の復活 将来に向けての捕鯨：第4回世界捕鯨者協議 会総会報告 博物館短信	2 3 4～6 7～8 9～12
2004	9			51	野本正博 中村齊	フィンランド特別展：アイヌー祈りの世界 イオル構想とアイヌ民族博物館 行事報告(2002.10～2004.8)	2～3 4 5～7
2005	3			52	山丸郁夫 野本正博	白老民俗芸能保存会・国立劇場公演 特別展「アイヌ 祈りの世界」開催：サーミ博 物館からタンペレ市博物館 博物館短信	2 3 4～5
2006	12			53	中村齊 北原次郎太 北原次郎太 安田千夏 安田千夏	トロムセの邂逅：苫小牧駒澤大学学生の研究 旅行随行 へまた・てまな 企画展「西平ウメとトンコリ」開催・その後 上田トシさんを偲んで 博物館短信	2 3～4 5～6 7～8 8～12

年 月		雑誌等の編者名	巻 号	通巻	雑誌等の誌名 文献の編著者名	発行者 文献タイトル 文献の目次・備考	掲載ページ
あ (あいぬ)							
				アイヌ民族文化研究センター 北海道立アイヌ民族文化研究センター だより			
2000	3			12	古原敏弘 大谷洋一 小川正人	サンクトペテルブルグのアイヌ資料調査 [フィールドからデスクから]ウエベケレ イエ!イエ!(昔話を言って!言って!) [問い合わせあれこれ][アイヌ人形]について 教えてください	4 1~2 3 4
2000	9			13	谷本一之、古原敏弘 澤井春美 大谷洋一	極東のパラートシ・パログ資料調査 [問い合わせあれこれ]アイヌ語の辞典について	1~2 2~3 4
2001	3			14	甲地利恵 小川正人	アイヌ語一口メモ ビリカ ムックリの音 [共同研究から]教育雑誌のアイヌ関係記事調査	1~2 3 4~5
2001	9			15	小川正人 大谷洋一 甲地利恵	[著作紹介]山田秀三 [フィールドからデスクから]現代の「アイヌ 書誌」をめざして [問い合わせあれこれ]アイヌ語で1月から12 月の言い方はありますか [共同研究から]小泉文夫記念資料室のアイヌ 音楽資料の調査・整理・公開	1~2 2 3
2002	3			16	澤井春美 甲地利恵	[著作紹介]知里真志保 [共同研究から]『本別町生活文化誌』の編さん に参加して [問い合わせあれこれ]アイヌの伝統的な踊り や歌を、実際に見たり聴いたりすることはで きますか? [著作紹介]金田一京助	4~5 1~2 2 3
2002	9			17	古原敏弘 小川正人	[共同研究から]ロシアのアイヌ調査 [問い合わせあれこれ]アイヌの人口の移りか わりを知ることはできますか? [著作紹介]久保寺逸彦	1~2 3 4~5
2003	3			18	本田優子 小川正人 甲地利恵	[フィールドからデスクから]アットウシの歴 史を考える [研究課題紹介][学校と地域の歴史を通した 近代アイヌ史の調査研究]について [こんなときは]アイヌ音楽について調べる	1~2 2~3 4~5
2003	9			19	佐藤知己 古原敏弘、小川正人 大谷洋一	[フィールドからデスクから]入門書紹介:知 里真志保[アイヌ語入門] [研究課題紹介][「ビリカ会」関係資料の調査 研究]について [こんなときは]ヒグマが登場する物語を知り たい	1~2 2~3 4~5
2004	3			20	古原敏弘 小川正人 大谷洋一	[研究課題紹介][久保寺逸彦文庫]の写真資料 [こんなときは]人物の足跡や関係する資料に ついて知りたい カムイの声を聴くということ	1~2 2~3 4~5
2004	9			21	小川正人	企画展 アイヌ語地名を歩く:山田秀三の地 名研究から アイヌ史関係新聞記事の調査研究:胆振・日 高地方	1 3~4
2005	3			22	小川正人 甲地利恵	[こんなときは]アイヌ関係の昔の法令を調べ たい [研究課題紹介]旭川に伝承されるアイヌの座 り歌・踊り歌についての調査研究	4 5
2005	9			23	小川正人	[アイヌ文獻目録 2003]について 公開している資料について (1) 音声・映 像資料	3 4~5
2006	3			24	古原敏弘	[共同研究から][北海道内の主要アイヌ資料 の再検討]について [公開資料の紹介]文書・写真資料/平成18年 度から公開する資料について	3 4~5

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名		発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考		
あ（あいぬ）								
2006	9			25	澤井春美		[研究課題紹介]十勝地方のアイヌ語の調査研究(基礎語彙)について 2 [[ボン カンピソシ]の写真から]1 サハリンの木綿衣 3 [公開資料の紹介]平成18年度に新たに公開した資料 4～5	
2007	3			26		甲地利恵	[山田秀三文庫の資料から]浦河町の「チノミシリ」 1 [[ボン カンピソシ]の写真から]2 復活した登別の儀式 2 [フィールドからデスクから]「ピリカピリカ」はアイヌの歌? 3 平成19年度から公開する資料について 4～5	
2007	9			27		甲地利恵	[山田秀三文庫の資料から]伊達市の「ワッカオイ」 1 [[ボン カンピソシ]の写真から]3 噴火湾の木綿衣 2 [フィールドからデスクから]「サヨンの歌」とアイヌ語と 3 [公開している資料から]山田秀三文庫音声資料「沙流川下流域の地名調査」 4～5	
2008	3			28			[山田秀三文庫の資料から]青森県東通村の「尻労」と北海道長万部町の「静狩」 1 [[ボン カンピソシ]の写真から]4 負ぶい紐 2	
2008	9			29	小川正人 佐藤知己		[研究課題紹介]吉田巖資料の調査研究 3 [山田秀三文庫の資料から]青森県津軽半島外ヶ浜町の「宇田」と北海道檜山地方の「歌」 1 [フィールドからデスクから]自著紹介 アイヌ語文法の基礎 2 [[ボン カンピソシ]の写真から]5 アイヌの食器 椀 3 [公開している資料から]山田秀三文庫「SPOKEN AINU」と「アイヌ語日常会話テキスト」 4～5	
2009	3			30		甲地利恵	[山田秀三文庫と久保寺逸彦文庫の資料から]「アイヌ語会話字典」写本 1 企画展 語り・継ぐ アイヌ口承文芸の世界 2 [研究課題紹介]鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究 3	
2009	9			31		小川正人	[久保寺逸彦文庫の資料から]家の外壁の前に並べた器物 1 [公開している資料から]「アイヌ語資料館設置の件 要望書」と「アイヌ文化伝承保存会」設立関係資料：1970年前後のアイヌ語資料の収集・整理・保存そして活用に向けた動き 2～3 [フィールドからデスクから]札幌 北3条西7丁目物語(上) 4	

年 月 雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		掲載ページ
年	月	雑誌等の編者名	巻 号	通巻	文献の編著者名	文献タイトル	文献の目次・備考
あ (あえ～)							
				アエラ		朝日新聞社	
2001	3		14	12	690	天野一哉(文と写真)	東京で生きるアイヌ 文化の伝承図の拠点を開設
2005	7		18	38	939		[表紙の人]俳優 宇梶剛士/「素敵」を演じたのは初めてなんですよ」 11
				表紙写真とも。			
				青森県史研究		青森県	
2000	11				5	小口雅史	エミシからエゾへ：北の防衛性集落の時代再論 1～23
2002	2				6	中村和之(講演要旨)	一三～一六世紀における中国王朝のアムールランド支配とアイヌ 167～168
2002	12				7	熊谷公男(講演要旨)	古代史上の津軽の蝦夷 140
2003	12				8	成田敏	青森県下北地方の曲物細工 95～100
						関根達人、柴正敏	蝦夷錦の品質と年代 一赤地牡丹文蝦夷錦の噴石を中心にー 119～101
				青森県立郷土館だより		青森県立郷土館	
2004	7		35	2	130	木村高	[ようこそギャラリーートークへ]北からの波及文化
2005	9		36	3	134		[講演要旨]佐々木利和[笹森儀助 北へのまなざし] 2
				赤れんが		北海道立文書館	
2004	1				38	熊崎農夫博	[わが町の古文書]〈厚岸町〉太田紋助史料について 4
2004	10				39	谷本晃久	濃やかな近世アイヌ社会像を知るために：モンベツ御用所の文書から 8
						小林真人	山丹交易：白主・ウシヨロ御用所などの文書から 9
2006	11				42	伊藤聡	[古文書あれこれ]善兵衛・不届者につき手討に致し候：アイヌをめぐる番人と役人の綱引き 4～5
				広報あかん		阿寒町	
2002	11				380		第4回国際口琴大会で弟子さん・山本さん演奏 14
2003	1				382		伝説に触れる、神祕の第53回まりも祭り 14～15
2005	3				408		変わる学校VI Special version 伝統ある技術と文化が、ふるさとを愛する心と誇りを育む 7
							ユーカラ劇 天駆ける英雄の物語 7
				秋田史学		秋田大学史学会	
2001	3				47	今泉隆雄	古代東北辺境の支配構造 1～18
				秋田地名研究年報		秋田地名研究会	
2000	6				16	新谷正隆	縄文時代の秋田の地名語彙 28～37
2001	6				17	松野満	東由利の地名を考える 41～45
2002	6				18	柳沢兌衛	鹿角の古地名「毛馬内」(稿)(その一) 11～17
						深田新一郎	見内のことなど アイヌ語地名から思う 34～37
2003	7				19	柳沢兌衛	鹿角の古地名「毛馬内」(稿)(その二) 12～16
						深田新一郎	畑と北上川と原野 アテルイ大勝の周辺思考 17～20
2004	9				20	新谷正隆	西木村のアイヌ語地名 19～27
						第8号(1992年)掲載の旧稿に加筆したもの。	
2005	9				21	新谷正隆	阿仁町のアイヌ語地名 20～28
2006	12				22	新谷正隆	(旧)森吉町のアイヌ語地名 12～19
						大場久太郎	わすれられた民俗語彙：地名に残る微かな痕跡 20～32
2008	12				24	木村清幸	浅内はアイヌ語地名か：地域の古代史から検証する 1～8
						渡部耕輝	古代の能代を探る(1) 先住民はだれか 9～17
						渡部耕輝	古代の能代を探る(2) アイヌは先住民ではない 18～23

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名 文献の編著者名	発行者 文献タイトル 文献の目次・備考	掲載ページ
あ（あえ～）							
					秋田の地名	秋田地名研究会	
2004	5			38	新谷正隆	北秋田郡比内町のアイヌ語系地名	2～3
					浅井学園大学短期大学部研究 紀要	浅井学園大学短期大学部	
2006	3			44	泉山幸代	北方民族の服飾からイメージしたドレスⅠ： アイヌの衣服文様から	179～180
2007	3			45	泉山幸代	北方民族の服飾からイメージしたドレスⅡ： アイヌの衣服文様から	113～114
					旭川研究<今と昔>	旭川市	
2000	3	旭川市総務部市 史編集課（編）		16	大塚一美	“熊送り最初の歌舞”“オプタシケ”“考”	41～51
2000	7			17	瀬川拓郎 大塚一美 原田一典	上川アイヌの地域集団とその性格（二） 一地 域集団と親族関係一 近文に伝わっていた涕泣歌（ルビ：シノッ チャ）をめぐって [余言余話]熊送りの熊と飼育の主婦	1～22 73～84 72
2002	1			19	大塚一美	知里幸恵と金田一京助 一[この砂赤い赤い （ルビ：タン オタ フレ フレ）をめぐって 一	1～10
2003	2			20	原田一典 谷本晃久	[余言余話]百年前のアイヌ伝統文化上川保存 案 [余言余話]「農学校教授某氏」とは誰か？：新 渡戸稲造と近文給与予定地	47 68
					旭川市博物館研究報告	旭川市博物館	
2000	3			6	青柳信克	[企画展レビュー]“燃る”“編む”“織る”ア イヌ女性の手仕事と自然利用	6
2001	3			7	瀬川拓郎 魚井一由、廣田徹	上川盆地におけるサケの生態と漁法 アイヌ語地名由来考：札幌・函館・松前・旭 川	1～15 17～21
2002	3			8	旭川市博物館・東海大学文学部考古 学研究室 瀬川拓郎 青柳信克 魚井一由、廣田徹	上川アイヌの地域集団とチャシ：旭川市立岩 山チャシ遺跡発掘調査報告 富のヒエラルヒーとしてのサケ産卵床 Information about Japanese Ainu Collections 門野トサ嬢のメノコユーカー	1～12 13～23 25～34 35～40
2002	3			8	魚井一由、廣田徹	イフンケとメノコユーカー	1～8
2004	3			10	魚井一由、廣田徹	アイヌ語数詞体系に対する考察：ドブプロトゥ ヴォールスキーのアイヌ語辞典を基盤にして	1～20
2005	3			11	魚井一由	知里幸恵編アイヌ神謡集の中の『蛙が自ら 歌った話』への一私考	1～8
2006	3			12	魚井一由	旭川採集アイヌ語名詞集	1～12
2007	3			13	魚井一由	旭川採集アイヌ語名詞集	1～11
					こうほう旭川市民	旭川市生活交流部広聴広報課	
『あさひばし こうほう旭川市民』も参照。							
2000	7			691		ふるさと・旭川2000年記念事業 アイヌ伝統 文化事業	6
2001	7			703	〔北門中学校郷土史研究部〕	こども紹介 ぼくとわたしがレポーター①楽 しかったトンコリ作り。今年は丸木舟作りに 挑戦だ。	6
2002	3			711		まちに息づく・アイヌ伝説	4～7
2002	4			712		みんなのコーナー	13
2003	2			722		特集・生誕100年を迎える知里幸恵 内コラ ム[声も心も美しい幸恵さん]	6
						特集・生誕100年を迎える知里幸恵 内コラ ム[北門中学校の取組み]	7
					朝日クロニクル 1992 平成4年	週刊20世紀 朝日新聞社	
2000	10			89		アイヌの長老逝く	18

年	月	雑誌等の編者名	巻号	通巻	雑誌等の誌名	発行者	掲載ページ
					文献の編著者名	文献タイトル 文献の目次・備考	
あ (あえ～)							
					あさひばし こうほう旭川市 民	旭川市生活交流部広聴広報課	
2007	10			778	『こうほう旭川市民』も参照。 特集「まちの不思議を探ってみよう」西神楽	「コロボックル コタン」って何？	5
2008	10			790		生まれ変わった博物館がおもしろい！	2～5
					アジア文化史研究	東北学院大学大学院文学研究科	
2004	3		4		長澤政之	場所請負制崩壊期、子モロ場所の漁業生産と 和人労働者の動向	1～27
2006	3			6	黒岩聡奈	明治初期における博覧会から見たアイヌの生 活	39～66
2007	3			7	渡會歩	現在のアイヌ民族をめぐる諸問題とその歴史 的背景：主に1954年以降を中心に	53～91
					アジア遊学	勉誠出版	
2008	2			107	熊木俊明	中世のサハリン	98～107
					紫陽花	女流書作家集団	
2008	8			61	中本ムツ子	ムツ子のはなし -アイヌの話-	2～3